

令和2年度 活動報告

「令和2年4月～令和3年3月」

❖前年度事業の総括と今後への展望

令和2年度は、コロナウイルスによる突然の感染拡大が世界的な大流行（パンデミック）の年度となり、我が国においても健康や生命への被害と共に経済活動を含む国民生活のあらゆる活動に甚大な被害をもたらしつつあります。

当公益法人の事業も、当然のことながら影響を蒙り、従来からその柱であったセミナーやワークショップの開催が中止やむなきに至り、新規事業の企画等も停滞しています。

本年度へ向けての公益事業の展開については、経済情勢に伴う貧富の格差拡大や国民の暮らし向きによって防犯安全の課題も変化することから、その課題意識には常に見直しを怠らないよう努めてまいりました。

昨今のコロナ禍の影響で低迷する社会情勢にも拘らず、当公益法人への期待をこめた重要な要請や提案が試されています。例えば、第一に、児童虐待防止活動へのコミットメントであり、第二には、防犯活動や児童福祉に関する設立運営の相談、その他の慈善活動へのコミットメント、第三にはそれらの事業に要する寄付金の提供提案などがあります。低迷する社会情勢の中で、これらの要請に堅実な回答を準備した上で、公益事業の展開を進めて参ります。

【当財団の活動目的】

公益財団法人日本防犯安全振興財団は、防犯環境づくりに貢献し犯罪のない安全で安心な国民生活の実現に寄与する事、また防犯に関する知識・思想の普及啓蒙を図る事を目的として次の（１）～（３）を主とした活動を推進しています。

- （１） 防犯の知識・技術普及のためのセミナー・講演の開催
- （２） 防犯環境づくりのための調査・研究
- （３） 防犯にかかわる情報の収集及び提供

【本年度の具体的な活動内容】

当財団は、防犯の知識・技術普及のためのセミナー・講演の活動に力を入れて活動していたが、コロナ禍の影響で予定していたセミナーや、講演の活動は中止せざるを得ない状況となりました。そのため新規に形を変えて活動しています。主な活動は、次の（１）～（３）となります。

(1) 防犯の知識・技術普及に関するセミナー・講演の活動

「189プロジェクト」(児童虐待防止とそのサポート)

厚労省が推奨する児童虐待通報ダイヤル「189」をPRする映画「189」の活動支援や、養護施設の児童に向けた体験セミナーの支援活動などを主に行ってきました。また、今後もセミナー開催の目処が立っていないので、従来から実施してきた当財団の専任講師(西久保博信氏)の、体験型セミナーの動画制作を現在進行中です。

(活動資料1, 1-1, 2, 3)

(2) 防犯環境づくりのための調査、研究

児童虐待防止「189プロジェクト」の活動

九州地区を中心としたメンバーと交流会を持ち、児童体験学習やスクール開設、奨学金支援などの検討会を行ってきました。

九州地区の有志からは、検討にあたり施設提供の提案もあり討議してきました。

(3) 防犯にかかわる情報の収集及び提供

日本の情報セキュリティ対策の向上に向けた活動

日本の情報セキュリティ対策は、世界の中でも遅れている分野であり、この向上を目指して、セキュリティ診断が短時間で実施できるシステムの提案がありました。この検討にあたりIT会社と共に、情報収集と検討を行ってきました。

(活動資料4)

(4) その他前各号に関する公益目的を達成するために必要な事業

(1)～(3)以外で、令和2年度の取組として掲げていたのは下記の通りです。

- 1、ホームページのリニューアルの検討
- 2、配布用、当財団の新案内書の作成
- 3、事務所の新規開設
- 4、寄付者の開拓

◆具体的に実施できたのは、4、寄付者の開拓でした。

寄付者の開拓を通じて189プロジェクト(児童虐待防止活動)などの、新たな取組が生まれました。同時にこれからの展開に不可欠なホームページのリニューアルも実現に向けて進行中です。

以上、令和2年度の活動報告となります。